

住民説明会結果表（質疑応答を中心に）	
開催日時	平成21年9月5日（土） 10:00～11:30
会場	西尾市役所 51会議室
来場者数	180人
質疑応答の要旨	
Q:	今回の説明会も有権者数に対して、参加者は1%程度であるのが現状である。市は、合併を進めるといふ既成事実として報道している。市民は白けていないかと思う。前市長で行政に対して信頼は地に落ちた。今回の合併の件でさらに市は白けを上乘せしたこととなっていると思うが、どうか。
A:	参加者について、本日少ないとの指摘ですが、30人集めていただければどこでも説明にいかしていただく。また市を白けさせたとのことであるが、私はそのようには思っていない。合併を進めてほしいという意見も伺っており、また、各種団体からも合併を進めてほしいと要望が出ており進めていきたい。
Q:	市の名前は西尾市になると説明があったが新名称になる可能性はあるのか。また、合併により学校区はどうなるのか。西尾市の知名度は低いと思う。合併により知名度を上げる努力をしてほしい。また、高速道路の乗り入れ計画はできないか。
A:	市の名称については地域の方それぞれの思いがあるが、西尾市を基本として検討していく方針である。西尾が全国から知っていただけるような街づくりを進めていきたい。幹線道路の整備については国・県に働きかけをしていく。通学区域については、今後変更の方向で進めていきたい。
Q:	なぜ合併かが見えてこない。市町村合併は傷を残したとの意見もあり、政府の方針も変わってきている。民主党のマニフェストには合併は削られている。合併よりも小さな村が元気になることが大切でないか。合併して老後がどうなるか、子供たちはどうなるかが見えてこない。合併を進めるなら住民投票で民意を聞いてから進めてほしい。
A:	すべてがバラ色とは考えていない。今より良くしていきたいということが大前提である。今後高齢社会に到達し、介護・福祉が必要となる。合併を進め経費をうかし、介護・福祉の充実を図りたい。イエスかノーかの住民投票ではなく、住民意向調査で進めたい。
Q:	合併すると100億程度の補助が出ると聞いているが、説明資料には載っていないが。
A:	合併により5年間普通交付税が交付される（年間20億、5年で約100億）

と算定していたが、合併特例法は平成 22 年 3 月までの特例であり、4 月以降はどうか決定されていないため資料には載せていない。

Q : 幡豆 3 町においては救急車、消防車の台数、地震時の津波による避難場所など諸問題を抱えている。合併は早い時期に進めたほうが良いと思う。

また合併以前に救急車、消防車の活用など西尾市との協定が必要でないか。

A : 安心・安全の確保が第一と考える。合併により安心・安全がより一層図れるよう進めたい。

Q : 合併に難しい町があれば 1 市 3 町でなくとも 1 市 2 町でも進めてほしい。

A : 吉良町の話が出たが、吉良町長は先頭に立って、合併を進めていてくださる。必ず 1 市 3 町で一緒に進めていきたい。

Q : 県下で合併したところに出向いて市側の意見、住民側の意見を聞いている。各市の意見を聞いて参考にしていってほしい。各町内会単位での説明会を開催すべきでないか。

A : 一部の市ではあるが意見を聞いている。各町内会への説明会は市職員も多忙であり難しい。各地域には市議会議員さんがみえるので住民の意見を把握していただくとありがたい。以前の合併では市議会議員さんが先頭に立ち進められた。

Q : 市長は無投票で就任され、市民の真意を受けたものではない。住民投票をするべきでないか。住民意向調査の結果は公表されるのか。最終的には議会の議決と聞いたが、現在市議会議員で誰が賛成で、誰が反対か。

A : 皆様のご理解のもと無投票としていただいたと思っている。住民投票ではなく住民意向調査で進めたい。5%の住民の意向で民意は理解できると考えている。

A : プロジェクトチームからお答えします。住民意向調査は 19 会場での説明会実施後に無作為で 18 歳以上の 5%に当たる約 7 千人を対象に実施します。アンケートは、単なる合併賛成、反対でなく、合併に期待されること、反対の方の理由を聞かせていただくなど、きめ細やかなものとしています。

Q : 合併は西尾市だけが得をするのではなく、3 町の住民の方も良くなるよう進めてほしい。

A : 合併が実現できれば地域全体が良くなる、夢のある市としていきたい。